11 月 9 日（月）

Pudu Robotics Japan 株式会社

# Pudu Robotics、屋内から屋外まで、あらゆる商業施設の清掃ソリューションを提案。

## ～「ビルメンヒューマンフェア＆クリーン EXPO 2026」に出展 ～

商用サービスロボティクス分野のグローバルリーダーである Pudu Robotics（以下、PUDU）の日本法人、Pudu Robotics Japan 株式会社（所在地：東京都中央区）は、2026 年 11 月 18 日（水）から 20 日（金）まで東京ビッグサイトで開催される「ビルメンヒューマンフェア＆クリーン EXPO 2026」に出展いたします。

今回の展示では、商業施設やオフィス、ホテルなどの屋内空間から、歩道や緑地などの屋外エリアまで、幅広いシーンに対応する PUDU の清掃ロボットを紹介します。床面清掃を担う屋内向けロボットに加え、草刈りや落ち葉の回収に対応する屋外向けロボット「GT3」、日本の小売店舗に最適な 8-in-1 清掃ロボット「ET1」など、多様な清掃ニーズに応える製品ラインアップを展示します。

また、今回初披露となる MT1 専用の自動ゴミ排出ステーションも展示し、清掃業務のさらなる効率化と省人化に向けたソリューションを提案します。

### ■幅広い現場に対応する PUDU の清掃ソリューション

近年、少子高齢化に伴う労働人口の減少などを背景に、ビルメンテナンス業界をはじめ、さまざまな産業で人手不足への対応や業務効率化が重要な課題となっています。また、施設の規模や用途によって清掃の環境やニーズも多様化しており、清掃ロボットには、さまざまな現場に対応できる幅広い機能と柔軟性が求められています。

PUDU は、従来製品の進化に加え、小規模な空間から大規模施設まで対応する清掃ロボットのラインアップを拡充しています。また、床面清掃だけでなく、芝刈りや落ち葉回収など屋外作業にも対応領域を広げ、屋内外の多様な環境に適した清掃ソリューションを提供しています。

### ■主な展示製品

1. ET1：コンパクトな業務用清掃ロボット

本体幅 38cm のコンパクト設計で、最小 50cm の通路幅にも対応する小型清掃ロボットです。コンビニや薬局、小型スーパーなど、スペースが限られた商業施設向けに開発されました。掃き掃除・床洗浄・吸引・乾拭きの 4 つの機能を 1 台に集約し、狭い通路まで効率よく清掃できます。

2. BG1 Pro：大規模施設向け清掃ロボット

2,000 ㎡規模の大型商業施設やオフィスホールなど、広い空間の清掃に適した AI ネイティブ清掃ロボットです。掃き掃除と床洗浄を同時に行い、AI が床面の汚れを検知し、汚れの状態に応じて清掃方法を自動で調整します。また、壁際まで清掃できるエッジ清掃機能や、自動メンテナンス機能も備えています。

3. GT3：自走式草刈りロボット

草刈りから刈り取った草の回収・排出までを 1 台でこなす業務用芝刈りロボットです。芝生の管理だけでなく、舗装路面の落ち葉回収にも対応しており、幅広い屋外環境で活用できます。また、自動で指定場所まで移動して刈草を排出し、その後は元の作業エリアに戻って芝刈りを再開します。

4. MT1 専用自動ゴミ排出ステーション

大規模な施設での清掃を担う MT1 は、落ち葉やペットボトルなどの大きなゴミから細かなホコリまで幅広く回収できる一方、回収したゴミの排出作業も必要となります。そこで、MT1 がより長時間にわたって清掃を続けられるよう、ゴミの自動排出機能を備えた本ステーションを開発しました。MT1 が回収したゴミを現場のゴミ箱へ自動で排出し、排出後は自ら清掃エリアに戻って作業を再開するため、ゴミ捨てのための人手を介さず、清掃からゴミの排出までを自動化できます。

5. CC1 シリーズ：AI 搭載の多機能清掃ロボット

CC1 シリーズは、掃き掃除・床洗浄・吸引・乾拭きの 4 つの清掃機能を備えた多機能清掃ロボットです。今年には、新たに床面洗浄に特化したディスクブラシモデル「CC1 Pro Disc」を発売しました。2 つのディスクブラシを搭載、高い洗浄力と最大 25kg の加圧洗浄により、床面にこびりついた頑固な汚れも効果的に除去します。また、ブラシにはマグネット式の固定構造を採用し、作業中の安定性を高めています。

■出展概要

展示会名：ビルメンヒューマンフェア＆クリーン EXPO 2026

会期：2026 年 11 月 18 日（水）～11 月 20 日（金）

会場：東京ビッグサイト

ブース番号：S2-K03

■PUDU Robotics について

Pudu Robotics は、商用サービスロボティクス分野のグローバルリーダーです。AI とロボティクス技術を通じて、働く人々の負担を軽減し、より豊かな生活の実現を目指しています。また、世界 100 億人にサービスを提供するグローバルなインテリジェントロボティクス・インフラの構築をビジョンに掲げています。

エンボディドナビゲーション、エンボディド操作、エンボディドインタラクションという 3 つの独自技術を融合し、「One Brain, Multiple Embodiments」アーキテクチャを確立。専門型・セミヒューマノイド・ヒューマノイドまで、多様な形態のロボットを展開しています。これまでに、世界で 1,900 件以上の特許を出願しています。

商用・家庭用ロボットソリューションを開発・提供しており、サービス提供、商業清掃、産業搬送、汎用エンボディド AI、商業施設向け屋外環境整備、家庭用芝生管理など、幅広い分野をカバーしています。

現在、累計出荷台数は 13 万台を超え、85 以上の国と地域で事業を展開しています。小売、ホスピタリティ、製造、医療、不動産・施設管理、教育、エンターテインメント・スポーツ、公共サービスなど、多様な業界のお客様に製品・ソリューションを提供しています。